

# 深川 裕佳 先生

## 先生のプロフィール

### 【出身地】

三重県

### 【専攻】

民法

### 【近年(2~3年)の担当科目】

民法(担保法)、ミドル演習、アドバンスト演習

### 【コロナ後に行きたい場所(国内でも外国でも)】

ゆっくりと温泉にでも行けるといいなと思います。

深川ゼミ

## 【先生の研究内容、科目の魅力について】

私の研究対象は、決済の法的関係と債権の担保手段です。この関係で、講義は、担保法を担当しています。講義では、実務的な内容が多く出てくるので、イメージがわかりやすいように、判例をできる限り多く紹介することによって、受講生にとって内容がわかりやすくなるように心がけています。一見するととっつきにくいように思われる科目ですが、きちんと学ぶと、総則・物権・債権という民法の三つの分野の応用として、また、金融機関だけでなく、将来会社等で働く際にも役に立つ知識を得ることができると思います。

## 【先生のゼミ、ゼミ生の特徴・特色について】

レジュメの形式をきちんと整えて期限までに提出することができますし、授業中の報告・質疑応答もきちんとこなせるようになったと思います。全員が毎回1回は発言してもらっているのですが、欲を言えば、発言回数を増やして、突っ込んだ議論ができるようになるとさらに良いように思います。とはいえ、これまでに担当していたゼミと同様に、今のゼミもゼミ生同士が仲良く報告の準備をしたり、議論をしたりして、良い雰囲気でのゼミを行うことができていると思います。

## 【先生の学生時代の話】

大学生のころは、教員免許状の取得に必要だったこともあり、また授業内容が面白かったこともあり、海洋実習のような、所属する学部以外の授業もあえて履修しました。現在の研究に直結するわけではないのですが、他の学部の学生と交流することもできて、楽しい経験

でした。特に失敗や後悔したと感じていることはありませんが、法学の基礎的な学習をもう少しきちんとしておいた方がよかったかなとは思っています（皆さんもそうならないように、今のうちにしっかり勉強しましょう）。

### 【学生のうちに経験すべきこと、つけておくべき力は？】

学生のうちは、失敗を恐れず、将来の可能性に向けて、いろいろな経験を積んでほしいと思います。また、今は、パソコンやスマホが手元があれば、自分の部屋にいても必要なことの多くができてしまいますが、こういったものを、少しの期間でも、手元から放して生活してみるといいのではないかと思います（もちろん、大学等からの必要な連絡は定期的に確認する必要があります）。就活に必要な自己PRも、そういった中から生まれてくるのではないかと思います。

### 【学生に向けて一言】

法学部における本当の意味での学びは、ゼミ（演習）での発表や議論を通じて得ることができると思います。単に出席するだけでなく、積極的に議論などに参加しましょう。

## アドバンスト深川ゼミの実態！（2022年度ゼミ生 12名）

### 深川裕佳先生のトリセツ

- ・とても優しい先生です！
- ・報告後の補足説明もわかりやすいです。
- ・決め事がある時はゼミ生の意見を取り入れて考えてくれます。
- ・わからないことを聞くと優しく教えてくれます。

### 日々や休暇中の課題 活動内容

#### 【日々の準備、課題】

- ・レジュメ作成の準備、報告班レジュメの予習
- ・毎クォーター1回レポートがあります（事例問題など）  
※フィードバックをもらえます！

#### 【長期休暇課題】

- ・長期休暇課題はありません

- ・グループでの発表が中心です。
- ・報告班でない人は、質問をすることで出席扱いになります。

発表（15分～20分）

↓

質問を考える時間（10分程度）

質疑応答

↓

先生からの質問・補足説明